


施設名	さいたま市立植水保育園	電話	048-623-6698
住所	さいたま市西区佐知川 306		

事例 1	タイトル	食育集会「スイートポテト」クッキング！	
目指す姿 (大きな目標)	食育集会を通じて、食への興味、関心、感謝の気持ちを育てる。		
当日のねらい (小さな目標)	「えいようのうた」を通し、それぞれの食材が身体に及ぼす役割を知る。 スイートポテトの調理を見て、食材や調理器具、完成までの過程に関心を持つ。		
方法	対象者 (Oで囲む)	0歳児・1歳児・2歳児・ 3歳児 ・ 4歳児 ・ 5歳児 ・保護者・その他()	
	実施者 (Oで囲む)	幼稚園教諭・ 保育士 ・栄養士・調理師・調理員・その他()	
	日時	令和4年10月18日(火)	
	場所	ホール	
資料・教材	パネルボード、パネルシアター「おおきなおいも」、さつまいも、牛乳、バター、砂糖、生クリーム、鍋、蒸し器、オーブントースター、電熱器、計量カップ、包丁、ポウル、トンダ、ピーラー、スパチュラ、まな板、マッシャー、天板		
	実施内容	①「えいようのうた」を歌いながら、それぞれの食べ物身体を作ったり、力を出したり、調子を整えたりすることに役立っていることを知る。 ②子どもたちに慣れ親しまれている、「おおきなかぶ」のお話を少し変え、パネルシアター「おおきなおいも」を行う。そして、これから行うさつまいもの調理への関心を深める。 ③スイートポテトの調理を実演。食材や調理器具の紹介をし、出来上がるまでの過程にも興味を持つ。切った後や蒸しあがり、形成後等に子どもの元を回って見せる。	
結果・参加者の反応や様子	①「えいようのうた」は、今年度6月に行われた1回目の食育集会から慣れ親しんでおり、出てくる食材の名前を覚え、楽しみながら歌っていた。集会後の給食で、「ごはんは力に変わるんだよね！」「魚は身体をつくってくれるんだよ！」と話す子の姿があった。 ②「さつまいもでどんな料理をつくりたい？」という問いに、「さつまいもごはん！」「てんぷら！」「スイートポテト！」等、子どもたちから様々な料理名があがり、その後の調理実演への期待が高まった。 ③実際に調理していく中で、食材を見る、触れる、さつまいもを切る音に耳を澄ませる、蒸し上がりや焼き上がりの匂いを嗅ぐ、午後のおやつで実際に食するといったように、五感で楽しむことのできる集会となった。集会終了後、保護者向けに集会の様子や、スイートポテトのレシピを掲示すると、「たのしかった！」「おうちでつくりたい！」と保護者に話す子の姿や、レシピを写真に撮り、自宅で作ってみようとする保護者の姿があった。		
評価・今後の課題	通年して歌ってきた「えいようのうた」に加え、調理実演を通して、食に対する子どもたちの興味が大きく膨らんだと思う。また、食材や調理器具をみて、「それ使ったことある！」「バターはO Oにも入っているよね！」等、日頃の経験から感じたことを話し、食をより身近に感じるきっかけになったのではないと思う。今後は、給食メニューのレシピや食事バランスガイドについて、掲示を行い、子どもだけでなく、保護者に向けても食の楽しさや大切さを伝えていきたい。	備 考	

施設名	さいたま市立指扇保育園	電話	048-623-5065
住所	さいたま市西区高木 567-3		

事例 2	タイトル	野菜のスタンプ遊びを楽しむ。	
目指す姿 (大きな目標)	畑の野菜に興味や関心を持ち、食べることへの意欲を高める。		
当日のねらい (小さな目標)	野菜の断面や感触に興味を持ちながら、スタンプあそびを楽しむ。		
方法	対象者 (Oで囲む)	0歳児・1歳児・ 2歳児 ・3歳児・4歳児・5歳児・保護者・その他()	
	実施者 (Oで囲む)	幼稚園教諭・ 保育士 ・栄養士・調理師・調理員・その他()	
	日時	令和4年9月	
	場所	2歳児室	
資料・教材	畑のオクラ、絵の具、画用紙、カッター、絵の具を入れる容器		
実施内容	畑で収穫したオクラを半分に切り、絵の具をつけてスタンプあそびを楽しむ。絵の具をつける前にオクラを触り、感触のおもしろさに気づいたり、断面図を観察したりする。		
結果・参加者の反応や様子	0, 1, 2歳児クラスでも、年長児が育てている園庭の畑に興味を持ち、オクラやスイカ、キュウリが大きくなくていく様子を、毎日楽しんで観察していた。送迎時には保護者に大きくなった野菜の様子を伝える姿もあった。 表面の毛に気付いて「いたい」と言ったり、断面図を見て「たね！」と言う子どももいた。 スタンプでは「おほしまみたい」とくり返しスタンプを押したり、オクラを使って絵を描いて楽しんでいった。		
評価・今後の課題	スタンプあそびを通して、オクラの感触や断面図のおもしろさに気付いて興味を持つ姿があった。今回は畑の野菜のオクラだけを使用した。今回は給食室にも相談してにんじんのヘタを頂くなど、その他の野菜でもスタンプを楽しめるようにすると、より野菜への関心が高まり、食べることへの意欲につながるのではないかと考える。	備 考	

施設名	さいたま市立馬宮保育園	電話	048 - 623 - 4014
住所	さいたま市西区西遊馬 119		

事例 3	タイトル	『だし』ってどういうもの？	
目指す姿 (大きな目標)	食材に興味を持つ・食事に意欲を持つ		
当日のねらい (小さな目標)	『だし』の食材に興味関心を持ち、見たり触れたり味わってみたりする		
方法	対象者 (○で囲む)	0歳児・1歳児・2歳児・3歳児・4歳児・5歳児・保護者・その他()	
	実施者 (○で囲む)	幼稚園教諭・保育士・栄養士・調理師・調理員・その他()	
	日時	令和4年11月18日(金)	
	場所	各保育室	
資料・教材	にぼし、かつお節、昆布、コンソメ顆粒、油揚げ、だし(にぼし、かつお節) 野菜わんの模造紙シアター		
	実施内容	野菜わんの模造紙シアター 油揚げに触れる(何からできている？と考えてもらう) 『だし』の食材を見る、触れる、香りをかぐ 『だし』の色を見たり、香りをかいだり、飲み比べをする	
結果・参加者の反応や様子	<ul style="list-style-type: none"> ・当日の献立、『野菜わん』に使われている食材に興味を持ち、実際に油揚げに触れることで「これ何からできている？」と考えていた。 ・『だし』の食材を見て、「たこ焼きにかかっているもの(かつお節)」「わかめ(昆布)」と知っていることを話しながら、興味を持って触れていた。 ・『だし』の飲み比べでは、「くさい」「いい匂い」と感想は様々で、少しずつ口にしながらだしの味を感じていた。4、5歳児にはにぼしを好む子が多くいた。 ・5歳児には「スープの素のコンソメって何からできている？」と質問したところ、いろいろな意見が出ていた。 ・その日の給食では、見つけた野菜を伝えたり味わって食べたりする姿が見られた。 		
評価・今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・食べることに意欲を持ってもらうために、当日の献立の中から選び実際の食材を見せたり、触れたり、飲んでみたり色々なことを体験するができたと思う。 ・普段食べている給食などに『だし』が使われていると興味を深められた。 ・子どもたちの関心がいろんな食材に持てるよう働きかけていきたい。 	備考	



『野菜わん』に入っているもの、『だし』に使われているかとお節って見たことあるかな？



かつお節ってこんな香り…



いい匂い…この味おいしい




油揚げってどんな感じ？何からできているかな？

ふにやふにやしてる～

油…？黄色いもの…？

施設名	さいたま市立三橋西保育園	電話	048-622-1350
住所	〒331-0052 埼玉県さいたま市西区三橋 6 丁目 381-1		


事例 4	タイトル	三橋西げんきっず！ バランスよく食べよう！	
	目指す姿 (大きな目標)	バランスよく食事することの大切さ、食材それぞれの役割を知り、三色食品群を意識して食べてみようとする。	
	当日のねらい (小さな目標)	職員劇やあそびを通して三色食品群について興味を持つ。	
方法	対象者 (○で囲む)	0歳児・1歳児・2歳児・3歳児・4歳児・ <u>5歳児</u> ・保護者・その他()	
	実施者 (○で囲む)	幼稚園教諭・ <u>保育士</u> ・栄養士・調理師・調理員・その他()	
	日時	令和4年10月6日(木)	
	場所	三橋西保育園保育室	
	資料・教材		
	実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・バランスよく食べることの大切さを題材にした職員劇の実施。 ・三色のボードと食材のイラストを用意 ・その日の給食のメニューを見てどんな食材が使われているのかを確認し、三色のボード(三色食品群)に当てはめていく。 	
結果・参加者の反応や様子	<ul style="list-style-type: none"> ・職員劇は3・4・5歳を対象に行った。 ・職員劇中の食材当てゲームでは、食材の色や種類をヒントに三色に分け、ゲームを楽しみながら参加していた。 ・バランスよく食べることが大切だと知り、給食の苦手なメニューも食べてみようとする姿が増えてきている。 ・5歳児は給食の前に、献立に入っている食材のイラストカード選び出し、並べている。また、ひとつひとつの食材を三色食品群に当てはめて色分けをしている。パズル・ゲーム感覚で楽しみながら毎日行っている。 		
評価・今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・バランスよく食べること、食材それぞれの役割を楽しみながら興味を持つことが出来ている。 ・子どもたちから「今日は〇色が少ないね」など、色分けしたボードを見て気付きが広がってきている。子どもたちの気づきから、一日を通してバランスよく食べることの大切さや、バランスゴマ等にも話を広げていけると良い。 ・また今回の活動から、一人ひとりが身体に必要な量のご飯を食べることを意識し、最終的には残飯を減らしていきたいと考えている。 	備考	




施設名	日進保育園	電話	048-663-2791
住所	さいたま市北区日進町2丁目632		

事例5	タイトル	焼き芋最高！！	
目指す姿 (大きな目標)	食材への興味・関心を深める		
当日のねらい (小さな目標)	自分で収穫したさつまいもを焼き芋にする工程を体験し、みんなで食べる喜びを味わう		
方法	対象者 (Oで囲む)	0歳児・1歳児・2歳児・3歳児・4歳児・ <u>5歳児</u> ・保護者・その他()	
	実施者 (Oで囲む)	幼稚園教諭・ <u>保育士</u> ・栄養士・調理師・ <u>調理員</u> ・その他()	
	日時	令和4年10月21日(金)	
	場所	テラス・園庭	
実施内容	資料・教材	絵本、実際に行く畑の様子や、さつまいもの生長状態の写真や動画	
	実施内容	園庭やテラスに水が入ったタライやテーブルを用意し、自分たちが収穫してきたさつまいもを一本一本手洗いをし、新聞紙とアルミホイルを巻く。給食室のオープンで焼いてもらい、おやつ時間にそのままの状態を提供してもらった。その時の様子をクラス便りで紹介した。	
結果・参加者の反応や様子	<p>・芋ほりでは、事前に、行く畑の様子やさつまいもの生長状態を写真、動画で子どもたちに見せていたので、イメージを持つことが出来た。また、畑に到着すると「葉っぱがない」と違いに気が付く子がいた。なかなか芋が掘れない友だちを手伝ったり、掘った芋の大きさに驚いたり収穫を喜んでいった。</p> <p>・後日、自分たちが収穫したさつまいもを自分たちの手で洗い、新聞紙、アルミホイルを巻くなどの工程を体験することで特別な経験となり、おやつで提供された焼き芋を「おいしいね～」と友だちと気持ちを共有していた。</p> <p>・他のクラスも、5歳児が準備の様子を園庭で遊びながら目にしたり、おやつ時にアルミホイルで巻かれたままのさつまいもを担当が目の前で開けて見せると興味や期待の表情を見せていた。</p>		
評価・今後の課題	<p>・自分で収穫することで達成感を味わうことが出来た。収穫の際スコップでさつまいもを傷つけてしまうので、手で掘り起こすなど考える力を養うことが出来た。</p> <p>・自分たちが掘ったさつまいもが園全体に焼き芋として提供され、皆で美味しさを分かち合うことが出来、また年長児に対して憧れを抱いたようである。</p> <p>・給食室職員も一緒に考えたり快く協力してくれ、連携の大切さを感じた。</p>	備考	


施設名	さいたま市立東大成保育園	電話	048-664-6582
住所	さいたま市北区東大成町2-103		

事例6	タイトル	親子で挑戦！食育クイズ！！	
目指す姿 (大きな目標)	食育クイズを通して、子どもたちが普段食べている給食や行事食に興味を持つ。		
当日のねらい (小さな目標)	親子でクイズに参加することを楽しむ。		
方法	対象者 (Oで囲む)	0歳児・ <u>1歳児</u> ・2歳児・3歳児・4歳児・5歳児・ <u>保護者</u> ・その他()	
	実施者 (Oで囲む)	幼稚園教諭・ <u>保育士</u> ・栄養士・調理師・調理員・その他()	
	日時	令和4年5月から	
	場所	事務所前のスペース	
実施内容	資料・教材	給食の献立レシポ	
	実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・季節や行事にまつわるクイズを担当者で考え、奇数月に問題を掲示する。 ・親子で答えを考えてもらい、解答用紙を食育ポストに投函してもらう。 ・偶数月に解答と正解者を発表する。 ・正解者にメダルをプレゼントして写真撮影し、掲示する。 	
結果・参加者の反応や様子	<p>・親子でクイズを見ている姿を多く見かけた。</p> <p>・初回から30組以上が参加してくれていたが、回数を重ねるごとにさらに多くの親子が参加してくれるようになった。</p> <p>・プレゼントのメダルをとっても喜んでくれており、もらっている様子を見た他の子どもも羨ましがって次回への意欲に繋がっているようであった。</p>		
評価・今後の課題	<p>クイズを出題することで、子どもたちだけでなく職員も行事食や普段食べている給食に対する関心が高まって子どもたちと話をする機会が増えた。正解者の写真を掲示したことで、メダルをもらった子どももそうでない子どもも『またやろう』と意欲を持つことができたようである。今後も、子どもたちが食事に興味を持てるようなクイズを出題していきたい。</p>	備考	

施設名	宮原保育園	電話	048-663-4120
住所	さいたま市北区宮原町 2 丁目 8 3-2		

事例 7	タイトル	食材に触れて・嗅いで・育ててみよう	
目指す姿 (大きな目標)	食材に興味を持つ		
当日のねらい (小さな目標)	様々な食材に親しみ、食べることへの興味・関心につなげる		
方法	対象者 (Oで囲む)	0歳児・1歳児・2歳児・3歳児・4歳児・5歳児・保護者・その他()	
	実施者 (Oで囲む)	幼稚園教諭・保育士・栄養士・調理師・調理員・その他()	
	日時	令和4年4月～9月	
	場所	園庭、保育室	
資料・教材	皮むき食材(たまねぎ、とうもろこし、そらまめ)		
	栽培食材(オクラ、パプリカ、なす、きゅうり、ミニトマト、かぼちゃ、ゴーヤ、いちご、すいか)		
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・種まき、苗植えから野菜の栽培を行う。 ・それぞれ収穫した野菜を調理してもらい食べたり、野菜スタンプをしたり、皮を戶外遊びで使用したりする。 ・その日の食材の皮むきを行い、そらまめの皮はそのまま戶外での砂場のままごと遊びに使用する。 		
結果・参加者の反応や様子	<ul style="list-style-type: none"> ・自分たちで種まきや苗植えをしたことで、水やりをこまめにしたり様子を気にしたりと、大切に育てようとしている姿があった。 ・皮むきは「おうちでやったことある」とすぐにむき始める児や、触ることに抵抗がある児と実際にやってみると、その反応は様々であった。 ・自分たちの作った野菜を調理してもらって食べることはもちろん、他クラスに分ける際は「私たちが作ったんだよ」と嬉しそうに話す様子があった。 ・かぼちゃやすいかは上手く育たずに終わってしまったが、「どうしてなんだろうね」と育たない理由を考える児もいた。 ・野菜スタンプでは、上手くオクラの星型が出来ると「きれいにできたね」「やった」と、歓声が上がって盛り上がりがあった。 		
評価・今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・普段野菜を食べることに抵抗のある児も、育てることで食材に興味を持っているようだった。 ・栽培の中心が4、5歳となったこともあり、なかなか1、2、3歳児クラスを巻き込んで、野菜と触れ合う機会を設けることが難しかった。 ・野菜を育てたことにより、虫が集まってきて予想していなかった新たな遊びに広がっていった。 ・給食室が委託だが、食育に協力的に関わってくれている。今後も子どもと給食室、さらに保護者も繋げていけるよう工夫していきたい。 	備考	

施設名	大砂土保育園	電話	048-663-7233
住所	さいたま市北区土呂町 1-51-8		

事例 8	タイトル	五感で味わおう！野菜くず遊びと土づくり	
目指す姿 (大きな目標)	野菜と関わり、親しみを感じる		
当日のねらい (小さな目標)	本物の野菜に触れ、興味をもつ		
方法	対象者 (Oで囲む)	0歳児・1歳児・2歳児・3歳児・4歳児・5歳児・保護者・その他()	
	実施者 (Oで囲む)	幼稚園教諭・保育士・栄養士・調理師・調理員・その他()	
	日時	令和4年11月10日(木)～11日(金)	
	場所	園庭	
資料・教材	「生ゴミ堆肥」ですてきに土づくり 著者:門田幸代		
	実施内容	<p>〈野菜くず遊び〉</p> <p>1, 2 歳児の戶外遊びの時に、職員で持ち寄った野菜くずを子どもたちの手に取れる場所に置く。</p> <p>〈土づくり〉</p> <p>5 歳児が遊んだ後の野菜くずをハサミで細かく刻む。堆肥と刻んだ野菜くずを混ぜる。堆肥は事前に職員が作っていた。</p>	
結果・参加者の反応や様子	<p>〈野菜くず遊び〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・容器に入れ見たり触れたりする。玩具の包丁で切ってお料理ごっこをする。砂の中に埋めて収穫ごっこをする。給食の時間になり遊びを終えることが惜しく感じるくらい、夢中になって遊んでいた。 <p>〈土づくり〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・先日の散歩時に堆肥作りで使う落ち葉を拾ったことと自分たちが栽培した野菜の収穫後のものが土になるという話が、今回の活動とつながり、自然と土づくりの野菜を刻むことに興味をもち取り組んでいた。 ・保護者向けに食に関する取り組みを知らせる掲示コーナーで行っていたりポベジ野菜を、食べられる所は飼育しているカタツムリの餌にし、カタツムリが食べられない部分は土づくりの中へ入れようと子どもから意見が出ていた。 		
評価・今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・食卓が上がってこない部分や調理される前の姿を見たり匂いを嗅いだり、じっくり触れたり本物と関わる時間をもつことができた。今後も機会をつくっていきたい。 ・土づくりは5歳児中心で行ったが、職員間で方法を周知し共有することで、他の年齢でも取り組みやすくなると感じる。 ・保護者に取り組みの姿を発信し、親子の食に関する会話のきっかけを作っていきたい。 ・作った土で春野菜の栽培を行い、子どもの興味や経験を継続していきたい。 	備考	<p>土嚢に刻んだくず野菜を入れている場面</p> 

施設名	日進西保育園	電話	048-663-0063
住所	さいたま市北区日進町 1-800-1		

事例 9	タイトル	「ツール・ド・フランス・さいたまクリテリウム」コラボ給食の紹介	
目指す姿 (大きな目標)	日々、何気なく食べている給食に親しみや興味を持つ。		
当日のねらい (小さな目標)	外国の料理に興味を持つ。		
方法	対象者 (〇で囲む)	0歳児・1歳児・2歳児・ <u>3歳児</u> ・4歳児・5歳児・保護者・その他()	
	実施者 (〇で囲む)	幼稚園教諭 <u>保育士</u> 栄養士・調理師・調理員・その他()	
	日時	令和4年11月2日(水)、令和4年11月4日(金) 給食配膳準備の時間	
	場所	3歳保育室、4歳児保育室、5歳児保育室 幼児クラス前のテラス(資料掲示)	
	資料・教材	ツール・ド・フランスについての紹介資料、デンマークとフランスの国旗、コラボ給食に関するクイズ、掲示用のボード(全て保育士の手作り)	
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> 給食の配膳中に幼児の3クラスを順番に回って「クリテリウムって何だろう?」、「どうして今日の給食は外国のごはんなのかな?」ということをテーマに説明する。 給食のメニューを1つずつ紹介し、最後に一問、今日のメニューに関するクイズを出題。3択問題で手を挙げてもらった。 		
結果・参加者の反応や様子	<ul style="list-style-type: none"> 11月2日(デンマークの料理)と11月4日(フランスの料理)で2回、紹介を行った。 外国の名前を聞くと「知ってる!」と反応する子がいた。 3歳児クラスは3択クイズに対して全ての回答に「はい」と手を挙げている子が多くいたが4歳児、5歳児になると3択の選択肢と目の前の給食を見てよく悩んでいる子もいた。答えを聞くと「やったー当たった!」と喜んだり「えー!」と驚いたりしている子が多くいた。 食育担当が当日、選番勤務だったが選番保育の時間に「デンマークのご飯おいしかったな」、「自転車の大会なの?」、「僕、自転車持ってないんだよね」等、感想を言う子もいた。また給食の紹介をした次の日の朝、食育担当の保育士が出勤すると「昨日のデンマークのハンバーグ、おいしかったねえ!」と朝一番に報告しに来る5歳児もいた。 夕方、ボードを用いた掲示には子どもたちが話を聞いている姿の写真も載せ、保護者の方にも見ていただく機会になった。 		
評価・今後の課題	クリテリウムコラボメニューの名前を聞いた時に保育士自身が「どんな料理だろう?」と疑問に感じた。子どもたちにも伝えたい、知ってもらった上で食事を楽しんでもらいたいと思ったので今回、取り組んでみたが興味を持って聞いてくれたようで良かった。一方的に話すのではなく、クイズを入れることで積極的に参加してくれたように感じた。何気なく食べている毎日の給食を少しでも楽しめるように、今後も何か特別な献立の日には紹介をする機会を設けられたら良いのではないかなと思う。	備考	

食育担当の保育士が各クラスを回って今日のメニューを紹介します。最後にクイズに挑戦です!



11月1日
★デンマークの郷土料理★
デンマーク風ポテトサラダの隠し味は何かな?

11月4日
★クリテリウム応援給食★
コンソメジュリアンの「ジュリアン」はフランス語でどんな意味かな?



施設名	奈良保育園	電話	048-651-7172
住所	さいたま市北区奈良町 125-6		

事例 10	タイトル	「今日の給食はなにが入っているかな？」	
	目指す姿 (大きな目標)	食材や味付けに興味関心を持ちながら食べることを楽しむ。	
	当日のねらい (小さな目標)	いつもと違う環境で給食を食べることやどんな食材・調味料が使われているのか、味わいながら食べることで食を楽しむ。	
方法	対象者 (〇で囲む)	0歳児・1歳児・2歳児・3歳児・4歳児・ <u>5歳児</u> ・保護者・その他()	
	実施者 (〇で囲む)	幼稚園教諭・ <u>保育士</u> ・栄養士・ <u>調理師</u> ・調理員・その他(園長)	
	日時	適時	
	場所	事務所・給食室	
	資料・教材	特になし	
	実施内容	年長児がひとグループごと事務所で園長と給食を食べることがお楽しみの機会になっている。そこで給食配膳後に食材クイズを行う。配膳されたものを見たり実際に食べ味わうことで、使われている食材・調味料を挙げていく。ごちそうさまの後に答えを記入した紙を持って給食室へ行き、調理師に確認してもらう。	
結果・参加者の反応や様子	テラスや事務所の中での給食を食べることが特別な時間になっている。そんな中、園長との食材クイズがさらに楽しいひと時となり、「今日は 100 点とるぞ」と意気込みながら給食を食べにクラスから出かけていく様子がある。クラス内でも毎日給食時に食材紹介しているので、色々な食材は知っているが、クイズ形式や採点されることに面白さややりがいを感じている。また調味料や隠し味まで当てるのは難しいこともあり、当たった時には喜びひとしおの様子が見られる。献立によっては使われている食材を覚えたり、味付けに関しても調味料の味を覚えて感じ取っている。		
評価・今後の課題	給食は自分のクラスで慣れ親しんだ担任や友だちと食べることで食生活の安定が促されることもあるが、時には特別な環境で食事をとることで食欲が増進したり、食べる楽しさに繋がることもある。自分が何を食べているのか、どんな食材を口にしているのか知ることによって自分自身の体や健康にも興味や関心が高まる機会になるよう働きかけていきたい。日々の食材紹介もクイズ形式やいろんな形での紹介方法を年齢に合わせて考えていく。	備考	園の構造上、給食室が子どもたちから見えず、調理過程や食材を目に触れる機会がない。また、調理師と触れ合う機会も少なく、給食が出来上がるまでにどのような過程があるのか子どもたちがイメージしにくい状況がある。感謝の気持ちを持って食べる気持ちを育むためにも給食室との連携を増々図っていきたい。

「今日の給食はなにが入っているかな？」




園長先生とテラスで給食。「今日の給食には何が入ってる？」と食材クイズをしながら、よく味わって食べています。




食後に給食室へ行って、食材クイズの答え合わせをします。「給食の先生！！今日は〇〇と〇〇と…入ってたかな？当たり？」


施設名	さいたま市立泰平保育園	電話	048-667-1847
住所	さいたま市北区今羽町596		

事例 11	タイトル	はてな BOX の中身は何か？	
目指す姿 (大きな目標)	実際に食材に触れることで食材への興味や関心を持つ		
当日のねらい (小さな目標)	食材に興味を持ち、名前や特徴を知る		
方法	対象者 (Oで囲む)	0歳児・1歳児・2歳児・3歳児・4歳児・5歳児、保護者・その他()	
	実施者 (Oで囲む)	幼稚園教諭・保育士・栄養士・調理師・調理員・その他()	
	日時	令和4年11月18日(金)	
	場所	各保育室	
資料・教材	はてな BOX・ほうれん草・チンゲン菜・小松菜		
実施内容	通年で食材が身近なものになるように食材回覧を行っている。子どもたちが野菜に触れ、大きさや重さ、感触など様々なことを感じながら食に興味や関心をもてるようにする。		
結果・参加者の反応や様子	<p>・はてな BOX がクラスに回ってくると「今日は何が入っているのかな？」と、ワクワクドキドキしながら手を入れ、触った感触で当てようと考えたり、穴からのぞいてみたりし、「葉っぱだー」と嬉しそうに伝えに来ていた。</p> <p>・3種類の葉物野菜を見せると、ほうれん草は馴染みのあるようですぐに分かる子が多かったが、チンゲン菜は名前が分からず保育者が教えると、変わった名前を面白がる姿があった。</p> <p>・3種類の野菜を見比べてみて「太いね」「細いね」と違いを見つけて楽しんでいた。</p>		
評価・今後の課題	<p>・毎月のはてなBOXを用いた食材回覧を継続して行っているのですが、今日は中に何が入っているだろう…と中身が見えないことによってワクワクドキドキを感じ、食への興味や関心を持つことに繋がった。</p> <p>・現在は食材回覧時の子どもの様子を文面で掲示して保護者に伝えているが、今後は写真などを利用し、保護者の方にも興味を持ってもらえるような発信の仕方を考えていきたい。</p>	備考	


施設名	さいたま市立大宮保育園	電話	048-641-1497
住所	さいたま市大宮区吉敷町1-132-3		

事例 12	タイトル	食べた物はどこへ？	
目指す姿 (大きな目標)	・食事の意味や大切さを、噛む・濾すといった実践を通して学び、消化・吸収の仕組みを知る。		
当日のねらい (小さな目標)	・普段食べているものが、どのようにして便になるのかを知る。		
方法	対象者 (Oで囲む)	0歳児・1歳児・2歳児・3歳児・4歳児・5歳児・保護者・その他()	
	実施者 (Oで囲む)	幼稚園教諭・保育士・栄養士・調理師・調理員・その他()	
	日時	令和4年 8月30日	
	場所	5歳児室	
資料・教材	<ul style="list-style-type: none"> 小麦粉粘土 ストッキングネット チャック付きシール袋 茹でジャガイモ 食紅 ペットボトル空容器(小) 水 		
実施内容	<ol style="list-style-type: none"> エプロンシアター。 チャック付きシール袋内の食材を砕く。 固形(便)と水分(尿)を分ける為に濾す。 各グループの違いや感想を伝え合う。 		
結果・参加者の反応や様子	<p>〈参加している様子〉</p> <p>・「食べた物は口から入って、体の中でどうなるの?」「ウンチはどうやって出てくるの?」と日常疑問に思っていることをテーマに取り上げることで食べることへの大切さを感じてもらいたいと思った。実際に見て、触ってもらえるような体験、参加型形式にし、小麦粉粘土を使って行った。始めに、エプロンシアターで体内の作りや消化の仕組み、そして食べ物の違いなどでウンチも変わってくることを伝え、とても集中して見たり聞いたりしていた。その後に4~5人のグループに分かれて小麦粉粘土と茹でジャガイモ入りの袋をウンチに見立てて触ってみた。水分量や野菜の量によってウンチの固さや形状が違うことに気づいたり、驚いたりしていた。その後各グループの気づきや感想を伝え合い、他のグループの物も積極的に見合い、子ども同士で共有していた。最後には、食事は人間にとってとても大切であることや食材のバランスを考えること、しっかり噛むことの重要性を伝え、終了となった。</p> <p>〈参加した後の様子〉</p> <p>・園で行った食育活動のことを子どもたちが家庭で話した様で、親子、職員との会話のきっかけ作りになった。子どもたち自身、ウンチに興味を持ち、「今日はいいいウンチでた〜」と話してくれることが増えた。</p>		
評価・今後の課題	<p>・エプロンシアターでは、本物の腸の長さや大きさを見ることができ、「そんなに長い?」などと子どもたちも楽しんでいた。</p> <p>・少人数のグループに分けたことで、皆で協力し合いながら、全員が形状の違いを触ったり確認し合ったりすることができた。</p> <p>・子どもたちが興味、関心が持てるような内容を考え楽しみながら活動に参加できるようにしたい。</p>	備考	


施設名	さいたま市三橋保育園	電話	643-3145
住所	さいたま市大宮区三橋2-929		

事例 13	タイトル	野菜の栽培	
目指す姿 (大きな目標)	野菜の栽培、収穫を通して食への興味関心を高める		
当日のねらい (小さな目標)	野菜の生長過程を観察し、収穫の喜びを味わう		
方法	対象者 (Oで囲む)	0歳児・1歳児・2歳児・3歳児・4歳児・ 5歳児 保護者・その他()	
	実施者 (Oで囲む)	幼稚園教諭・ 保育士 ・栄養士・調理師・ 調理員 ・その他()	
	日時	令和4年5月～10月	
	場所	園庭	
資料・教材	ナス・トウモロコシ・ピーマン・オクラ(緑・赤)		
実施内容	それぞれの苗をプランターで栽培。毎日の水やりをしながら、苗が生長していく過程を観察。葉が増え、茎がのびていく様子、花や実をつけていく様子を、担任や友達に伝え合い、収穫に期待を膨らませていました。同じ苗でも生長の様子が違ったり、病気になってしまったりすると、「なぜだろう？」考えたり調べたりし、葉や花についている虫にも興味を上げていました。		
結果・参加者の反応や様子	<ul style="list-style-type: none"> ・収穫した野菜を調理してもらい、給食の献立に混ぜてもらったり、茹でてもらう少しずつ食したりしました。オクラやピーマンは、「苦手」と言っていた子もいましたが、自分たちで育て、収穫した特別なもの、という思いから少量を口にすることができ、「食べられた！」と嬉しそうに保護者に報告する姿も見られました。 ・収穫期を逃してしまったもの、うまく育たず食するのに適さないものは、切って断面の観察をしたり、スタンプ遊びに使用したりしました。 ・送迎時には、年長児だけでなく、小さいクラスの子も達も保護者の方とプランターを覗き込み、野菜の生長を楽しんだり、食材について話をしたりという姿もありました。 		
評価・今後の課題	野菜を育てたことで、食への興味関心が広がり、食べる意欲にもつながったと思います。送迎時に野菜の生長についてや、食べてみた感想などの会話が聞かれ、食がテーマとなる親子のコミュニケーションにつながっていました。次年度も栽培方法を工夫し、子ども達の食への興味関心を広げていきたいと思います。	備考	

施設名	さいたま市立天沼保育園	電話	048-642-4240
住所	さいたま市大宮区天沼町 2-438-1		

事例 14	タイトル	天沼保育園食育レンジャーショー	
目指す姿 (大きな目標)	食育レンジャーショーを通して食に興味を持ち、栄養バランスについて知り、苦手なものも進んで食べてみようとする		
当日のねらい (小さな目標)	食育レンジャーショーを楽しんで見ながら、食べることの大切さを知る		
方法	対象者 (Oで囲む)	0歳児・1歳児・ 2歳児 ・ 3歳児 ・ 4歳児 ・ 5歳児 保護者・その他()	
	実施者 (Oで囲む)	幼稚園教諭・ 保育士 ・栄養士・調理師・調理員・その他()	
	日時	令和4年9月28日(水) 2・3歳9:45～ 4・5歳10:15～	
	場所	ホール	
資料・教材	<ul style="list-style-type: none"> ・食に関する職員劇 ・食育レンジャーショー後の掲示といいねシール(保護者向け) 		
実施内容	食に興味関心を持ち、栄養バランス(三色の食品群)の大切さを知ってもらいために職員劇を実施		
結果・参加者の反応や様子	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な職員が食育レンジャーやバイキン、子ども役に扮したことでとても喜び、好き嫌いせず赤・黄・緑の食品をバランス良く食べる大切さを知り、楽しみながらよく見ていた。 ・集会后すぐに「かっこよかった！」「また見たい！」と声があつたり、「食育レンジャーになりたい！」と真似したりしていた。 ・ショーを見てから「大きくなるために何でも食べる！」と好き嫌いせず意欲的に食べる姿が多く見られるようになった。 ・給食時、三大食品群の表を見て「これは〇〇色だね！」と食品に興味をもって食べる姿が増えた 		
評価・今後の課題	食育レンジャーショーにしたことで食に興味を持ち、楽しみながら栄養バランスについて学ぶことができた。 ・コロナ対策のため、2・3歳と4・5歳で時間を分け2部制で行った。 ・集会の様子を掲示したことで、親子で食について話すきっかけになり、共有もできて良かった。 ・子どもたちからもリクエストの声があがったので、題材を変えてまた実施できるようにしたい。	備考	

施設名	さいたま市立上小保育園	電話	048-643-4436
住所	さいたま市大宮区上小町845-4		

事例15	タイトル	なんの野菜かな？(3・4歳児) / ひじきの実験(5歳児)	
	目指す姿(大きな目標)	給食で食べている食材に興味や関心を持つ。	
	当日のねらい(小さな目標)	年齢に応じて食材を見たり、匂いを嗅いだり、乾物の変化、「食」に興味を持つ。	
方法	対象者(○で囲む)	0歳児・1歳児・2歳児・3歳児・4歳児・5歳児・保護者・その他()	
	実施者(○で囲む)	幼稚園教諭・保育士・栄養士・調理師・調理員・その他()	
	日時	令和4年10月21日(金)	
	場所	3・4・5歳児クラス	
資料・教材	資料・教材	給食室から提供してもらったその日の給食に使う食材(ひじき・玉ねぎ・かぼちゃなど)。	
	実施内容	◎給食前の約10分間を利用して、その日の給食に使われている食材を使ったゲームや実験を行う。 ・3歳児…シルエットクイズ ・4歳児…箱の中身はなにかな？ ・5歳児…乾物(ひじき)の水戻し実験 ◎取り組みの様子を、当日、各クラスのホワイトボードに掲示。	
結果・参加者の反応や様子	・3歳児→映されたかぼちゃの凹凸のあるシルエットを見て「骨がある。」という声が聞かれた。かぼちゃは、すぐに解ったが、玉ねぎは正解するまでに時間がかかった。給食を食べながら「玉ねぎがあった！」と知らせたり、かぼちゃが苦手な子も、一口食べてみようとしたりする姿が見られ、おかわりをたくさんしていた。 ・4歳児→箱の中身(玉ねぎ・かぼちゃ)を触り、当てることが出来た。「みどり色だよ。」と色を教えたり、「丸い形だよ。」など大きさや形を伝えたり、ヒントをだす子もいた。玉ねぎの皮を剥くと色が変なることや、オレンジ色と緑色のかぼちゃを見て、野菜の色に興味を持っていた。 ・5歳児→水に戻す前のひじきを保育士が手で半分に分けると「おお！」と歓声が湧き、水で戻したひじきが手で潰れると「すごい！」という声が聞かれ、ひじきの変化に驚いていた。保育者の「どうしたら柔らかくなるかな？」の声掛けに「焼く！」「煮るのかな…」と考える姿が見られ、戻して柔らかくなったひじきに興味深く触っていた。		
評価・今後の課題	・年齢に合わせた内容で行ったことや、給食を食べる前の短い時間を利用して行ったことで、取り組みの内容と給食のメニューが繋がりがやすかった。 ・水戻し実験では、今回はひじきで行ったが、切り干し大根や春雨など他の食材も使い行っていきたい。 ・乳児クラスに合わせた取り組みも考え、「おいしい」と感じたり、「食べてみよう」という気持ちを持ったりできるように機会を設け、食への興味や関心に繋げていきたい。	備考	

食育集会



色々な野菜の切れ端をツツツしたり、じ〜と見たり…

3歳児 シルエットクイズ



4歳児 箱の中身は何か？




5歳児 ひじきの水戻し実験




ひじきを水に入れたらどうなるかな？

施設名	さいたま市立大成保育園	電話	048-667-2559
住所	さいたま市大宮区大成町3-655-1		

事例 16	タイトル	食材について知ろう。	
目指す姿 (大きな目標)	<ul style="list-style-type: none"> ・食材の栄養について知り、苦手な物も自分から食べてみようとする。 ・新鮮な野菜を食べて、野菜のおいしさを五感で感じる。 		
当日のねらい (小さな目標)	<ul style="list-style-type: none"> ・野菜の名前や栄養、食材がからだを作ることを知る。 		
方法	対象者 (Oで囲む)	0歳児・1歳児・ <u>2歳児</u> ・ <u>3歳児</u> ・ <u>4歳児</u> ・ <u>5歳児</u> ・ <u>保護者</u> ・その他()	
	実施者 (Oで囲む)	幼稚園教諭・ <u>保育士</u> ・栄養士・調理師・ <u>調理員</u> ・その他()	
	日時	令和4年8月26日	
	場所	・ホール	
	資料・教材	・絵本・野菜・子ども用包丁・まな板・目隠しBOX	
実施内容	<p>【栽培】 子どもたちが育てた野菜を収穫、調理して食べる。</p> <p>【食育集会】 野菜の絵本を読み、目隠しBOXを使い野菜当てクイズをする。 野菜の断面を見て触ったりにおいを嗅いだりする。</p> <p>【保護者発信】 食育集会や調理した野菜を食べる様子を掲示する。</p>		
結果・参加者の反応や様子	<p>【栽培】・園門付近や保育室から見える場所で野菜の栽培をしたことで生長を近くでみる事が出来た。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・畑の植物を見て、「今度は何の野菜かな？」と期待をもち水やりを楽しんでいた。 ・苦手と感じていた採りたての野菜を「ちよつと食べてみる。」と言い、一口食べようとしていた。 <p>【食育集会】・野菜に触れて観察したり香りを感じたりして、興味を持っていた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・野菜の断面をみて驚いたり、野菜に触れた経験のある子は「知ってる！」と発言したりしていた。 <p>【保護者発信】・集会の掲示を見て親子で、「何食べたの？」「おいしかった？」などと楽しそうに会話する姿が見られた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもが「○○食べたよ。」と親に伝えたり、野菜の生長を毎日話したりしている。 		
評価・今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが野菜や食材に触れる体験をしたことで興味が広がり、子ども同士や親子で話す機会が増えた。保育士は繰り返し食育の取り組みをおこない、子どもたちの様々な興味を引き出すことが出来た。 ・日頃から子どもたちが食材、食文化、その他食に興味を持てるように、どのような取り組みの工夫ができるか意見を出し合い考えたい。合わせて保護者が食への関心を持てるように発信をおこないたい。 	備考	

施設名	さいたま市立寿能保育園	電話	048-644-0470
住所	さいたま市大宮区寿能町2-140		

事例 17	タイトル	食育集会	
目指す姿 (大きな目標)	食への関心・興味を持つ		
当日のねらい (小さな目標)	パネルシアター(3つの栄養)を通して楽しみながら三大栄養素について知る。		
方法	対象者 (Oで囲む)	0歳児・1歳児・2歳児・3歳児・ <u>4歳児</u> ・ <u>5歳児</u> ・保護者・その他()	
	実施者 (Oで囲む)	幼稚園教諭・ <u>保育士</u> ・栄養士・調理師・調理員・その他()	
	日時	令和4年11月11日(金)	
	場所	ホール(5歳児室)	
	資料・教材	パネルシアター	
実施内容	<p>エイヨウジャー(赤・黄・緑)が登場し、食べ物には赤「体を作るもとになるもの」黄「エネルギーのもとになるもの」緑「体の調子を整えるもの」があり、バランスよく何でも食べると病気に負けない元気な体になることを知らせる。いくつかの食材を上げ、3色食品群のどの色に当てはまるのかクイズを出す。</p>		
結果・参加者の反応や様子	<ul style="list-style-type: none"> ・最初は、話にあまり興味を示さなかった子どもエイヨウジャー(ヒーローもの)が出てきたことで、話を聞くようになった。 ・今日の給食の食材や5歳児が育てている野菜についても、どの色の食べ物なのかクイズを出したことで興味をもって保育者の話を聞いていた。 ・4歳児は、給食の時間に食育集会を思い出し、食材の話をしていたとの報告もあった。 ・この食材は、どの色に当てはまるかクイズは、4才児には少々難しそうにも感じたが5才児は正解する子が多かった。 ・「ピーマンの肉詰めなら赤と緑、両方の栄養がとれるよ」の声もあり驚いた。 		
評価・今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・食育集会をしたことで食に興味・関心を持ち、会話の中に食材が出てくるようになった。 ・赤・黄・緑に分けるクイズは楽しんで参加していたが、バランスよく食べることが元気な体づくりに繋がることを繰り返し伝え、苦手なものも食べてみようとする気持ちが育つよう今後も子ども達に働きかけていきたい。 ・2クラス一緒に集会をしたが、クラスごとに行い話し方・内容などを変え、才児にあった内容で行なっていくことも良いと感じた。 	備考	

施設名	さいたま市立桜木保育園	電話	048-641-1229
住所	さいたま市大宮区桜木町 1-185-2		

事例 18	タイトル	大根を育てよう	
目指す姿 (大きな目標)	野菜の生長を感じ、食への興味・関心を持つ。		
当日のねらい (小さな目標)	普段捨てている野菜くずが栄養のある土になることを知る。		
方法	対象者 (○で囲む)	0歳児・1歳児・2歳児・3歳児・ 4歳児 ・ 5歳児 ・保護者・その他()	
	実施者 (○で囲む)	幼稚園教諭・ 保育士 ・栄養士・調理師・調理員・その他()	
	日時	令和4年 10月6日(木)～	
	場所	4歳児保育室、屋上	
	資料・教材	バケツ・シャベル・土・洗濯ネット・米ぬか・コーヒーかす・野菜くず	
実施内容	<ol style="list-style-type: none"> 1、野菜の絵本の読み聞かせ 2、栄養のある土(コンポスト)についての説明 3、野菜くずと土、米ぬかなどを実際に混ぜてみる。 4、毎日混ぜて、経過を観察する。 5、出来上がった土で野菜を育てる。 		
結果・参加者の反応や様子	<ul style="list-style-type: none"> ・野菜についての絵本を読むことで野菜の生長について興味を持っているようだった。保育士の野菜が大きくなるには栄養が必要だという話をじっくりと聞いていた。 ・コンポスト作りを始めると、子どもたちは野菜くずと土から「何が出来るのだろう?」と興味を持っているようだった。はさみで野菜を刻みながら土の中に入れると「えー!」という驚きの声と共に集中して見ていた。 ・コンポストを混ぜると「なんだかいいにおいがする」と感じた事を言葉にしたり、保育士の説明を聞いてコンポストが温くなることを知った子は、混ぜながら実際に触ってみたりするなど五感を使って楽しむ姿があった。 ・コンポストを使用して大根作りを始めると、期待に胸を膨らませる子どもたちの表情があった。水やりをして数日が経つと「先生芽が出る!」と嬉しそうに友だちや保育士に伝える姿があった。土作りから子どもたちが参加したことにより、育てている野菜に愛着が湧いているようだった。 		
評価・今後の課題	土作りを通して、野菜を育てるためには栄養のある土が必要だと知ることができた。ビルの保育園で砂場以外の土に触れる経験が少ない中、コンポスト作りを通して土に興味を持たせたこともよかったと思う。今後は育てた大根で切り干し大根を作ってみたいと思う。切り干し大根作りから乾物への興味を引き出せたらと考えている。	備考	

コンポスト(堆肥)作り



土の中に野菜のくずや
コーヒーかす、米ぬかを
入れてこどもたちに混
ぜてもらいました!



まぜてみたい～!!



なんだかいいにおいが
するね～!

大根作り



完成したコンポスト
(堆肥)を土に混ぜて、
大根の種まきをしまし
た! 4・5歳児のペア
で大根を育てていきま
す!



自分たちで育てている
大根に愛着がわいてい
るようで、日々水やりを
しながら生長を楽しみ
にしています。



芽が出ました!!
今後の生長が楽しみです。



施設名	さいたま市立大和田保育園	電話	683-2536
住所	さいたま市見沼区大和田町1-1230-92		

事例 19	タイトル	3大栄養素って、なーに？	
	目指す姿 (大きな目標)	三大栄養素について知る	
	当日のねらい (小さな目標)	集会を楽しむ・歌など参加できる部分に参加することを楽しむ	
方法	対象者 (Oで囲む)	0歳児・1歳児・2歳児・3歳児・4歳児・5歳児・保護者 その他()	
	実施者 (Oで囲む)	幼稚園教諭・保育士・栄養士・調理師・調理員・その他()	
	日時	令和4年10月13日	
	場所	ホール	
	資料・教材		
	実施内容	<p>コロナの感染者が収まっていたので、ホールでの集会方式で行った。 教材を使った三大栄養素についてのお話し、クイズや歌で楽しんだ。 同時に手洗いについての発信をした。 保護者に向けても、三大栄養素についての発信を行った。</p>	
結果・参加者の反応や様子	<ul style="list-style-type: none"> 赤レンジャーなど、親しみやすい内容や絵だったこともあり、集中できていた。 保育士からの問いかけにも反応している様子が見られた。 集会後に掲示をし、保護者にも集会があった事と三大栄養素についての発信をした。 掲示について、子どもから保護者に声をかけ一緒に見ている姿が見られた。 クラスでも献立表を色分けし、給食の食材を伝える時に栄養素について話題に出すことで興味を持っていた。 1歳児には難しい内容だったが、集会に参加することを楽しんでた。 		
評価・今後の課題	<p>乳児クラスには難しい内容だったが雰囲気を楽しんでよく見ていた。</p> <p>幼児クラスは、給食時に話題に出すなどして今後も内容に触れていこうと思う。</p>	備考	



赤レンジャー！が現れると大喜び♪



1歳児クラスも参加して見えています



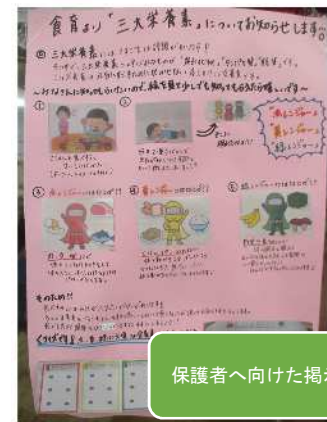
手洗いについても触れました。



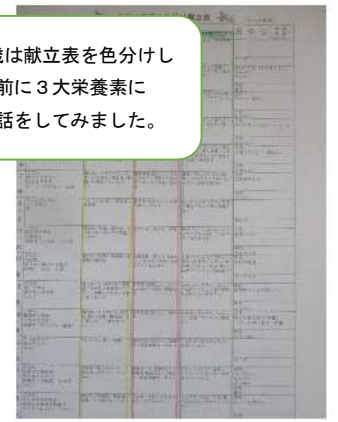
えいようのうた、は「ごんべさんの赤ちゃん」のメロディです




3、4歳は献立表を色分けし給食前に3大栄養素について話をしてみました。



保護者へ向けた掲示もしました。



施設名	さいたま市立七里保育園	電話	048-685-2717
住所	さいたま市見沼区大谷 1985		

事例 20	タイトル	食材に興味関心を持つ	
目指す姿 (大きな目標)	給食に出てくる食材に親しみ、興味関心を広げる		
当日のねらい (小さな目標)	食材を見て実際に触る事で親しみをもち、疑問を持った事を調べたり試したりする事で、更に興味関心を深める		
方法	対象者 (Oで囲む)	0歳児・1歳児・2歳児・3歳児・4歳児・5歳児・保護者・その他()	
	実施者 (Oで囲む)	幼稚園教諭・保育士・栄養士・調理師・調理員・その他()	
	日時	令和4年11月18日(金)	
	場所	3・4・5歳保育室	
	資料・教材	その日の給食に使われている食材をトレーに乗せた物 絵の具、画用紙等	
実施内容	今年度より給食室の協力のもと、その日の給食に出る食材を毎日トレーに乗せ出してもらい、幼児クラスで順番に回している。日々各クラスで食材クイズ等にしながらか親しみ楽しむ事で、食材に対する子ども達の興味関心も少しずつ深まってきた。 5歳児クラスでは食材に対する疑問も出てきて、図鑑で調べて分かった事を皆に知らせたり、野菜スタンプにしたりして断面の形を見て喜んでいました。		
結果・参加者の反応や様子	<3歳児クラス>	野菜の特徴や野菜にどんな効果があるのかをすっかり覚え、保育士が言わなくても子ども達の方から声上がる事が増えてきた。野菜クイズにも沢山答えられる様になってきた。	
	<4歳児クラス>	野菜の切れ端を見ながら、毎日野菜クイズをする事を楽しんでいる。ほうれん草と小松菜の違いを覚えたり、にんじんは毎日の様に2つのメニューに入っていたりする事に気が付いた。野菜に対しての興味が深まった事で、自ら頑張る姿も増えてきた。	
	<5歳児クラス>	食材のレンコンを見て「何で穴が空いているのだろう？」と疑問を持ち図鑑で調べる。穴が多いと空気が通りやすく美味しいという事が分かったと他のクラスにも知らせに行っていた。「スタンプにするとどうなるかな？」と断面の形にも興味を持っていた。別日には春雨に興味を持ち、実際に水の中に入れて、変化して行く過程や感触を楽しんでいた。	
評価・今後の課題	・日々給食の食材クイズを各クラスで楽しむことで、以前までは「はっぱ」「きのこ」と言っていた食材にもそれぞれに名前がある事を知り関心が深まった。「買い物行った時に見た」という事も多くいて、保護者との会話のきっかけにもなった。 ・今回の幼児クラスでの取り組みをドキュメンテーションにし発信する事で親子での共有の機会になる様にする。 ・5歳児クラスでは食材への疑問が出てきているので今後も実験コーナーを作り実際に試していく。	備考	

施設名	さいたま市立片柳保育園	電話	048-685-4611
住所	さいたま市見沼区御蔵 796		

事例 21	タイトル	みんなで野菜を育てよう！	
目指す姿 (大きな目標)	野菜の栽培を通して、食への関心を深める		
当日のねらい (小さな目標)	野菜を育てる中で、生長の様子を観察する 収穫した野菜をみんなで食べる		
方法	対象者 (Oで囲む)	0歳児・1歳児・2歳児・3歳児・4歳児・5歳児・保護者・その他()	
	実施者 (Oで囲む)	幼稚園教諭・保育士・栄養士・調理師・調理員・その他()	
	日時	令和4年4月～11月	
	場所	園庭	
	資料・教材	スナップエンドウ・トマト・なす・きゅうり・かぼちゃ・ポップコーンとうもろこし	
実施内容	4歳児2月頃にスナップエンドウの苗を植え、そこから始まった野菜栽培。5歳児に進級してからみんなで相談し、様々な苗や種を植えた。当番が水やりを行ない、収穫した野菜は、給食室で調理してもらいみんなで味わった。		
結果・参加者の反応や様子	・野菜が育っていく中で子ども達は様々な発見をして、気づいた事を友だちと教えあう姿があった。他のクラスの子も畑をのぞき、野菜への興味に繋がっていた。 (収穫時の様子) ・スナップエンドウ→「いい匂いがする」「ふくらんで可愛い」「お豆が7個、透けて見える」 ・トマト、なす、きゅうり→「真っ赤だ」「このなす大きなお腹だ」「チクチクする」 →色鉛筆で型どりにして大きさ、種類、形などを観察 ・かぼちゃ→1個目は計測して 460g あった。その後 5 個収穫したが、どのタイミングで収穫すると美味くなるか、意見を出し合う姿があった。 ・ポップコーンとうもろこし→2m位まで生長したが、台風で枯れてしまった。その後、もう一度育てようと砂場に植えなおしたり、枯れてしまった茎と葉をほうきに見立て掃除したりあそびに繋がっていた。そして11月のある日、葉の間から小さな実を発見。子ども達は大喜びだった。 収穫した野菜を食べ、様々な感想が聞かれた。野菜が苦手な子も味わって食べている姿があった。 ・野菜栽培の様子は、写真を使ったドキュメンテーションで保護者にも発信し共有した。		
	評価・今後の課題	普段から食べている食材を自分達で育てることで様々な興味に繋がり、それらをクラスの皆で共有していく中で、食べる事への意欲にも繋がった。 野菜栽培をする中で、園全体で生長を楽しむ姿があったので、来年度も継続していきたい。	備考